

# Fortune 100 の 飲料小売企業、 API とデータを保護

主要 API の脆弱性を特定し、過去の不正、悪用、  
窃取による損害を修復してお客様のデータを保護

アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) により、小売企業はエンドツーエンドのパーソナライズされた体験を顧客に提供しながら、業務を合理化できるようになります。在庫データ、発注、位置情報データ、支払い、報酬プログラムなど、消費者が飲料を手にするまでのあらゆる変数が、API によって提供されます。API は、小売企業、パートナー、顧客のエコシステムを繋ぐことで、ショッピング体験に革命をもたらしました。しかし、機微な情報に常に近接しているため、リスクにもなります。

消費者は新しいデジタル小売体験を楽しんでいますが、個人情報などの程度保護されているか、適切に保護されているかを不安視する消費者も少なくありません。API はサイバー犯罪者にとって格好の攻撃ベクトルになりつつあります。そのため、Fortune 100 の飲料小売企業は、API セキュリティ体制の脆弱性に対処するために、Noname Security (現 Akamai) に着目しました。

## 増加する API フットプリントの課題

当初、同社は有意義な API ガバナンスやセキュリティをグローバル規模で達成できないことに対する懸念を示していました。証拠を収集するために、同社が公開的に実証されるバグ・バウンティ・プログラムを委託したところ、重大な脆弱性が特定されました。1 億人近くのユーザーの名前、住所、メールアドレス、電話番号が流出する可能性があったのです。幸いにも、これはバウンティプログラムであり、問題は害を及ぼすことなく修正されました。

Retail  
Beverage  
Company 

### 所在地

米国

### 業種

小売、旅行、ホテル

### ソリューション

Akamai API Security

### 主な効果

- 1 日に 10 億件以上の API コールを保護
- 1 秒あたり 5,000 件のリクエストのセキュリティを確保
- 200 件以上の問題を特定および解決

また、本番 API の可視化と監視が不十分だったため、**リスクを十分に評価できず**、Apigee データでコンテキストに応じた詳細情報（データタイプ、ユーザーのふるまい、ベースライン、脆弱性のフォレンジックなど）が得られませんでした。これらの API の脆弱性により、不正、悪用、窃取が発生しました。その結果、小売企業の運用コストが上がってしまったのです。

## API セキュリティ体制を強化

Noname API Security Platform（現 Akamai API Security の一部）では、お客様の API のインベントリを作成し、API 固有の AppDev テストなどでふるまい分析、リアルタイム攻撃検知、脆弱性管理を実施することができました。その結果、お客様は既存の制御で見過ごされていた API 攻撃を検知し、修復できるようになりました。アプリケーションセキュリティ（AppSec）チームは、効率を高め、リスクの高い問題の優先順位付けを改善することができました。

また、Akamai は運用レイテンシーを生じさせることなくエンジンごとに最大 50,000 個の API をサポートします。お客様は、当社のプラットフォームをコアとしてグローバル API セキュリティプログラムを開発してきました。現在では、API の詳細情報がコンテキスト的に関連付けられ、API インベントリを完全に可視化できるようになりました。さらに、同社は既存ツールでは得られなかった実用的なインテリジェンスを獲得しました。これにより、コスト効率の高い機能が利用できるようになり、API 脆弱性管理やリアルタイムの**脅威検知**の効率が向上しました。

